

新潟県 公民館月報

KOMINKAN GEPPU

11

November 2017
No.777



まな 学ビュッフェ (郷土史コース) 「知ってるようで知らない! おぢや史跡ツアー」 (小千谷市)

身近な史跡をめぐり、郷土の歴史と魅力を再発見しました。

4~5 特集 県立生涯学習推進センターの周知と利用拡大を願って

県立生涯学習推進センター所長 井口 和司

CONTENTS

- 2………… トピックス 「正副会長会開催される 市町村負担金等を協議」
- 3………… 視 点 「新たな気持ちで」 長岡市中央公民館館長 水島 幸枝
ひ ろ ば 「楽しい場所」 上越市立公民館運営審議会委員 大越さとみ
掲 示 板 「正副会長会 県生涯学習推進課に要望」
- 6………… 実践記録シリーズ 子ども交流事業「風の子クラブ」 新発田市紫雲寺地区公民館
- 7………… サークル交流 体と心のチャイム「ピンポン」 「楽しく」が一番(関川村) / 「癒されて」(魚沼市)
素 顔 拝 見 桑原 菜奈さん(南魚沼市) / 山田 浩介さん(村上市)
- 8………… お元気ですか ネットワーク 「公民館活動に参加して」 三条市・成田 靖子さん

正副会長会開催される 市町村負担金等を協議



正副会長4人の白熱した議論 手前は事務局

市町村負担金等を協議する正副会長会が10月19日(木)に新潟市中央公民館で開催されました。

この会議は、6月9日(金)に開催された第2回理事会で協議された内容を継続協議するために開催されました。第2回理事会では全国都道府県の公民館連合会組織の運営調査の必要を指摘されましたので、事務局では、8月から9月にかけて全国調査を実施し、運営の実態をまとめて会議資料としました。

1 議事内容

- (1) 全国都道府県公民館連合会の予算等運営状況
- (2) 同 市町村負担金の算出方法
- (3) 新潟県公民館連合会設立の背景

2 全国調査のまとめ

8月17日付で全国都道府県公民館連合会に「平成29年度予算書」の提供を依頼しました。9月末日で回収を終了して資料としてまとめました。要旨は下記のとおりです。

- (1) 全国47都道府県のうち公民館連合会組織がない。(大阪府、三重県)
- (2) 回答は45都道府県のうち4府県は未回答。41都道府県から回答。
- (3) 事情があつて未回答と思われるので回答の催促はしませんでした。
- (3) 事務所は、県庁等の公的施設内に設置している。民間施設に設置しているのは新潟県のみ。

(4) 市町村負担金が総予算に占める割合が高い都道府県ベスト10は、

- ① N県75・9% ② C県74・2%
- ③ F県72・1% ④ G県66・8%
- ⑤ 北海道64・9% ⑥ K県 N県64・8%
- ⑧ A県64・7% ⑨ A県63・9%
- ⑩ O県57・1%

↓ほとんどの都道府県が50%以上の負担。新潟県は49・2%

(5) 市町村負担金の算出方法

- +算出の説明があつた都道府県のみデータです。
- ① 1,000円×170館+11,010×地区公連10
- ② 人口×40銭+平均割一律10,000円
- ③ 市52,000円
- 町38,500円
- 村26,000円+
- 賛助会員15×3,000円
- ④ 48,000円×10市
- 18,000円×30町村
- ⑤ 2,000円×174館
- ⑥ 800円×館数+人口割

(人口×0.970)

- ⑦ 均等割(8,000円×17市町村)+人口割(人口×1.15)
- ⑧ 均等割(5,000円×全市町村+人口割(人口×0.2773))
- ⑨ 1,283円×公民館数+人口割(人口×57銭)
- ⑩ 均等割(34,000円×全市町村)+人口割(人口×0.03)

*新潟県 平均割3割(20市、91町村:合併時の数)+人口割7割

*①~⑩を新潟県に当てはめて試算しましたが、いずれの方法でも現在の市町村負担金が増になることがわかりました。

3 正副会長会の主な意見

- (1) 公民館連合会の設置の意義について議論が必要ではないか。意義が各市町村で共有されていないのではないかと。
- (2) 費用削減の対象として県大

会開催をあげてみたらどうか。

(3) 財政当局からの予算削減が厳しい。何とかしないと事業ができない。これ以上の負担金の増額はできない。

(4) 県生涯学習推進センターに事務局を設置できないか。全国で民間施設に事務局があるのは新潟県だけだ。

(5) 各教育事務所社会教育課の位置づけには大きな意味がある。継続して連携するべきだ。

(6) 県大会の主催を新潟県がやれないか。

これらの意見をまとめとして、県生涯学習推進課長に要望として伝えました。事務局として、来年2月開催予定の第3回理事会、第2回評議員会に「県大会」や「公民館月報」等の来年度運営方法を提案します。また、平成31年度市町村負担金の協議を行います。(田原)



「楽しい場所」

上越市立公民館
運営審議会委員
大越さとみ



私は図書館で読み聞かせをしている。「えほんのじかん」という月2回のこの活動は、今年で20周年を迎えた。来てくれる子どもの中には皆勤賞を取る子もいる。この子もその一人だった。

保育園に上がる前から小学校を卒業するまで毎回通ってきていた。その子が中学2年生となり職場体験でフリーペーパーの編集部を選んだ。そこで自分の住む区を紹介するコーナーを任されたのである。そこには楽し

い場所として「えほんのじかん」が載せられていた。子どもを絵本で笑顔にする読み聞かせをしていること。何度聞いても飽きずに楽しく、えほんのじかんに行き始めてから本が好きになったこと。いつも明るいサークルの方に元気をもらえること。そんなことが書かれていた。

私は驚いた。感激した。子どもにそんなふうに見られていたとは、思いもしなかった。そうか、絵本で笑顔にしているんだ

視点



長岡市中央公民館
館長 水島 幸枝

「新たな気持ちで」

公民館担当であるご縁で、第34期新潟県社会教育委員として活動しています。今期は視察研修や意見交換を通じ、公民館のあり方について考えています。「予算が減った」「職員が減った」など、公民館関係者が集まるとネガティブな話題が多い昨今。公民館の明るい未来像を描く作業はなかなか難しいものです。

そんな時、ある方(公民館関係者ではない)の意見が強く印象に残りました。時代は変わった。公民館もこれまでの概念を打ち破らなければ未来はない。公民館は行きたい人が行くところ。なのに皆が一緒に「若者が来ない」と嘆くのはなぜか? 行きたい人にとつて、必要な学びの場があればそれでいい。

その方いわく「人口、歴史、地理的条件、地域性、予算、首長の考え方等、公民館をめぐる状況は様々なのに、なぜ公民館関係者は一堂に会し、ひとつの答えを出そうとするのか」と言っ

：そう思うとうれしくなった。図書館にある本を読む。ただそれだけのことをこんなに評価してくれてありがと。楽しい場所っていつてくれてありがとう。20年たった今、今度はこの子が発信してくれるんだ。続けてよかったと思っただけだ。ところで、あなたの街の楽しい場所はどこですか? 公運審の委員としては、それが公民館であってほしいと願います。

です。私は「公民館は皆、違うのだから、未来像は地域を知る職員と利用する住民とが自ら答えを出すべきだ」というメッセージに聞こえました。他市町村の事例を学ぶことや情報交換も大切ですが、まずは利用者の声に耳を傾け、職員と一緒に汗をかき知恵を絞ることが大切なかもしれません。公民館を元気にするには、まず自分から! この寄稿を機に、新たな気持ちで元気に前へ進もうと思います。

掲示板 HOT NEWS 正副会長会 県生涯学習推進課に要望

10月19日(木)に開催された正副会長会の協議終了後に県生涯学習推進課を訪問しました。メンバーは、笹川会長、五十嵐副会長が正副会長会の代表として、県生涯学習推進課・加茂課長と中川副参事(公民館担当)と面談しました。約40分間にわたり、県公民館連合会の運営課題について協議の内容を伝えました。

公民館と県との連携の重要性を盛り込めないか。
3 新潟県公民館連合会が全国でもまれな運営形態をとっている。県として支援を拡大していただきたい。
席上、他県が行った全国公民館の運営状況調査の集計表が資料として提示されました。今回の当連合会が行った調査資料と比較しながら現状把握に努め、1~3の内容については「検討します」という加茂課長のお話でした。(田原)

- 1 県生涯学習推進センターに事務局を設置してほしい。
- 2 現在改定中の第二次県生涯学習推進プランに市町村

特集

県立生涯学習推進センターの周知と利用拡大を願って



県立生涯学習
推進センター所長
井口 和司

本年度から勤務する当センターは県視聴覚ライブブライの流れも汲む施設であり、かつて視聴覚教育主事の職にあった際、会議や研修で訪れた懐かしい場所です。今回はセンターを紹介する貴重な機会をいただき感謝しています。というのも、県立図書館との複合施設であり、知名度の高い図書館の一部と誤解されやすいこと、県立自然科学館の裏手に位置することで建物自体も認知されにくいことなどがあるため、それらを払拭して少しでも利用拡大につなげたいと願っているからです。

1 センターの誕生

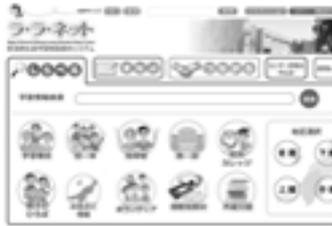
当センターの開館は平成4年8月なので本年度で開館25年目を迎えることとなります。本県では昭和57年に新潟県生涯学習推進会議が設置され、平成元年12月の県議会で「県立生涯教育センター」の設置に関する陳情」が採択されていますが、これがセンター誕生の大きな原動力となりました。年が明けた平成2年1月の第28回中教審答申「生涯学習の基盤整備について(答申)」で、地域における生涯学習推進の中心機関として全都道府県に「生涯学習推進センター」の設置が促されたことを考えると、それから僅か2年余りで立派な施設をオープンさせた当時の関係者の先見性と熟意に頭が下がる思いです。

2 役割と事業の紹介

当センターは時代の要請や技術革新などに伴って事業内容の変化を経つつも、前出の答申と県条例に基づいて実践を積み重ねてきました。現在は学習振興課と学習情報課の2課、職員12名の体制で主要事業を次のように区分して、取組を推進しています。

- | | |
|------------------|------------------------|
| (1) 生涯学習情報の収集と提供 | (4) 学習機会の提供、充実 |
| (2) 相談業務 | (5) 生涯学習における情報活用の推進 |
| (3) 生涯学習指導者研修会 | (6) 施設の利用(機材及び教材の利用含む) |

それぞれの細事業は多岐に渡っていますので、主要な事業からいくつか紹介します。(詳細はお手数でもネット検索で「ラ・ラ・ネット」と入力して、ぜひホームページで御覧いただければと思います。)



ラ・ラ・ネット Top

(1) ラ・ラ・ネット……

10月、見やすく使いやすくりニューアル！
県内の生涯学習に関する情報を広く県民の皆様にご提供すると共に、生涯学習関係機関や団体・サークルの情報発信や交流をネット上で支援するシステムで、20年以上の歴史があります。「しらべる」「まなぶ」「つながる」のキーワードから得られる全国有数レベルの情報量と質がセールスポイントです。県内全公民館の情報も掲載していま

す。当センターのホームページでもあり、事業関連情報の検索・研修の申込なども可能です。生涯学習の扉を開ける際は、まずここにアクセスしてみてください。
(2) いきいき県民カレッジ……

受講手帳のスタンプが励み、目指すは学長賞
県知事を学長として生涯学習社会の実現に向けて「いつでも、どこでも、自分の希望するものを学びたい」という県民の皆様の要望に応えることを目的にした事業です。県、市町村、大学、民間等で実施している生涯学習講座を体系化し、多様な学習機会を提供しています。登録講座を受講で手帳にスタンプをためると単位数に応じた奨励証が授与されます。登録講座数の拡大と受講者層の幅を広げることに努めています。
(3) 学校と地域の連携・協働に関する研修……

学びの成果活用のもと注目

平成27年12月の中教審答申(新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について)を受けて、「地域とともにある学校への転換」や「学校を核とした地域づくりの推進」が求められています。当センターでは学校と地域の連携・協働の取組において、学校側のキーパーソンとなる地域連携担当教員の資質・能力の向上を図る研修会と、地域側で窓口となる地域コーディネーターを養成する講座を実施しています。コミュニティ・スクールや地域学校協働本部、放課後子供教室など、県内でも取組が拡大しており、受講者が増加傾向にあります。



研修会 GW の様子

(4) 家庭教育支援……

未来を担う子どもたちの幸せを願って

家庭教育支援に携わる人材養成を目的に、基本とステップアップの2段階で各3回シリーズの研修会を計3会場で開催しています。修了者の情報を居住地の市町村に提供するなど、家庭教育支援チーム等の具体的な実践につなげるための支援も行っています。公民館等で家庭教育講座等を開催する際は、ぜひ活用をお願いします。「すこやかコール」は、家庭教育や子育ての不安や悩みに対応する電話相談です。近年は重い内容も増えており、研修を積んだ専門の相談員が親身に対応しています。

いずれも地域社会や家庭の環境等が変化する今日、虐待やいじめなど家庭教育や子育てに関わる様々な問題や悩みを抱える方々への支援に資する重要な事業です。

(5) 「映画・ビデオ上映会」……

無料の人気事業と成果活用ボランティア

毎月開催の上映会は、定員180名余のホールがほぼ満席になる盛況ぶりです。鑑賞後に感想を語り合えるカフェも開いています。運営は職員ではなく「映画ボランティア」の会の皆さんです。会場準備から呼び込み、作品紹介や照明なども主体的に行います。従前からの上映会に参加して、その意義に共感され、手伝いたいという熱い思いを抱かれた方々で組織されました。月例の会議ではアンケートの分析や次回以降の企画等を話し合い、互いに学び合うことでより良い上映会を目指しており、それが上映会の高評価につながっています。少子高齢化が進む今日、学習した成果を地域に還元し、地域の自立と絆を構築する「循環型生涯学習社会」の実現が求められています。本活動は、その「学びを楽しみ 社会に生かす」にも合致した価値ある実践だと思います。今年度は新たに上映プログラム講座を開講し、各地域でも上映会を企画、運営できる人材養成にも努めています。



すこやかコールのカード

(6) 施設や機器・教材の貸出し……

整った設備、名作教材等も多数

センターは県立鳥屋野瀉公園の中にあり、四季折々の自然環境がとて豊かで、各種の研修会や会議などの会場として最適です。映像・音響設備が整ったホールと大研修室は貸し出しを行っています。(減免制度有り)更にセンター所有のビデオやDVD等の視聴覚教材(約3,400本)、生涯学習関係図書約4,300冊、プロジェクト等のAV機器は団体登録をしていただくことで貸出しが可能です。

(※教材や図書は作品の状態並びに希少性・貴重性により貸し出しできないものもあります。)

3 現状から考える今後の展望

まとめとして、当センターの事業に関わって思い描いていることをいくつかを記します。

◇ 学習者の一層の拡大

「生涯学習」と聞いて年配の方が行うものというイメージをお持ちの県民の方がまだ少なくないように思います。しかし、「ゆりかごから劇場まで」や、

・「いつでも」	・「いつでも」
…人生のどの段階でも	…教室内だけではなく
・「だれでも」	・「なんでも」…どのよう
…どんな立場の人でも	なコト、モノも学習素材

と言われるように、学習の時期や場所、対象や内容、方法を含め、非常に幅広い概念です。

このことを一層周知・啓発していくことと併せて、これからは若い年代、特に子どもたちの生涯学習にも力を入れていくことが不可欠ではないかと考えています。たとえば、いきいき県民力レッジに小中学生や高校生向けの講座等を増やして大勢から参加してもらい、各奨励証から最高位の学長賞の取得を実現できたら最高です。生涯学習県民フォーラムで県知事から子どもたちに学長賞が授与される光景は思い浮かべるだけでワクワクします。また、障がいのある方々からも積極的に生涯学習に取り組んでいただけるよう、現在、前述の映画・ビデオ上映会

では視覚・聴覚に障がいをお持ちの方に配慮した字幕副音声付き作品の上映を計画的に実施しています。今後とも一層の配慮と拡大に努めていくことが重要と考えます。

◇ 学習成果を活用した活動の促進

「映画・ビデオ上映会」でも触れましたが、「循環型生涯学習社会」の実現に向けて、生涯学習で学んだことを地域や周囲の方のために役立てていただくことは大きな意義があります。一方で現状ではその取組が十分なされていないのではないかとこの声も聞かれます。いきいき県民力レッジでは学びを奨励するために受講手帳にスタンプをためる取組を行っていますが、成果活用の促進においても何かしら同様の取組ができないか検討していきたいと考えているところです。

◇ センターの周知と利用拡大

冒頭にも記したように、当センターについては事業も含めて一般県民の方にもっと周知を図っていく必要があります。その手立てを工夫しなければならぬと思っております。多くの予算をかけなくても可能なSNSやフリーペーパーによる情報発信、マスコミへの情報提供などを積極的に活用していく予定です。Twitterは既に始めていますので、ラ・ラ・ネットのトップページからご参加ください。

◇ 多様な機関・団体との連携拡大

今日、生涯学習の機会はあらゆるところから提供されています。何よりも大事にしたいのは、官民を問わず多様な組織・団体とネットワークを築き、連携することです。それぞれが持ち味を生かして協力することで、より魅力ある取組が実現するものと考えます。本年度はセンター職員全員が営業マンとして、あらゆる機会を利用して相手先に足を運び、顔を合わせて丁寧の説明することで連携の輪を広げられるよう努めています。

以上を実現するためには、多くの関係者の方々のお力添えが必要です。とりわけ地域における社会教育・生涯学習の拠点である公民館の皆様をはじめ、本読者の皆様からはそれぞれのお立場から当センターの広報マンとしてお力添えいただくと共に、今後当センター事業への御理解と御支援をいただければ幸いです。

実践記録シリーズ

236

子ども交流事業「風の子クラブ」 ～子どもたちの健全育成のために～

新発田市紫雲寺地区公民館

1 目的

平成18年度から紫雲寺地区の小学生を対象とし、子どもたちの健全育成を目的として野外活動や体験活動などを行っています。

2 対象者

紫雲寺地区の小学校4年生から6年生です。

3 活動の状況

毎月1回土曜日に、紫雲寺地区公民館やその他市内外の施設等で宿泊キャンプ、調理実習などの体験活動、赤い羽根共同募金街頭募金のボランティア等を行っています。



新発田市青少年宿泊室「あかたにの家」での流しそめんの体験

4 事業の成果

最近の小学生は、あまり友達等と外で遊んだり会話をする機会が少なくなってきた傾向の中で、同級生や上下級生間での幅広い人間関係を体験できます。活動を通じて部員は日々成長しているように思います。

5 学校・地域との連携

各回の活動のおしらせ等は学校を通して配布を依頼しています。また、公民館の担当職員と一緒に部員を毎回引率してくださる風



調理実習でのぎょうざの調理



お寺での坐禅体験

の子クラブ育成委員「(3名)の方々にはいつも大変お世話になっております。

そうしたことから、学校や地域の方々の協力と連携も大変重要となっています。

6 平成28年度の表彰

長年の赤い羽根共同募金の活動が評価され、平成28年10月26日に湯沢町で開催の新潟県民福祉大会において、新潟県共同募金会会長表彰(優良団体)を受賞しました。



新潟県共同募金会会長表彰(優良団体)受賞

7 今後の課題

近年の少子化による児童数の減少の中で、入部する小学生も年々減少傾向にあります。

クラブのPRによる、部員数の確保が今後の課題です。今年度も地区内の小学校に行き、説明会も開催しています。

多くの子ども達が参加をし、より有意義な活動になってくれればと思います。(今井)



体心のチャーム「ポン」 「楽しく」が一番

関川卓球クラブ

世界の舞台で日本人選手が活躍したことで注目され人気が出てきたのか、今部員は30人以上になりました。活動は水曜と土曜の夜で、下は小学生低学年から上は70歳以上の方まで、「楽しく」をモットーに汗を流しています。前半は基礎打ち中心、後半はミニゲームなど、年何回かは大会に出るので、楽しくも真剣に取り組んでいます。クラブ内の「どんぐりの背比べ」のレベルでも、なかなか勝てない人や負けたことがない人など、不思議と相性があって面白いです。体がだるかったり気持ちが沈んだりし



ていて練習に来るのが億劫な時もありますが、ラケットを振り始めれば心身はすぐリフレッシュできます。

関川村・関川卓球クラブ 相馬 拓也 記

「癒されて」

シャドーボックスサークル

アメリカン3Dアート「シャドーボックス」に出会い、魅了されて早や16年、その魅力にすっかり虜となつてしまいました。出来上がった作品をギャラリー等で展示しましたところ、シャドーボックスに興味を抱いた方々が集まり、た



魚沼市シャドーボックスサークル 酒井 礼子 記

ちまちサークル活動へと発展し現在に至っています。今やハンドクラフトとして人気上昇中です。会員数は少人数のサークルがいくつもあり、合わせて20名弱です。ほとんどの方が10年以上続けているベテランさんです。このように長く続けられたのは、アットホームな雰囲気、マイペースで自分の好きな作品を作り上げ、頑張りすぎず、「コミュニケーションを大切にやってきた成果のような気がします。又、出来上がった作品は、発表する機会ありで、文化祭出展や、ギャラリー展示などで励みになっています。これからもシャドーボックスの魅力を一人でも多くの方々知っていただき、楽しさを共有できる仲間を作りたいと思っています。

南魚沼市中央公民館 主事 桑原 菜奈さん



今年4月に新入庁職員として、当館に配属された桑原菜奈さんを紹介します。

今年の5月に成人式を終え、イベントに参加してくれた子供達からは「まだ大学生？」と間違われるほど若々しい菜奈さん。しかしながら、実家が旅館だとのことで接客には慣れており公民館に来る方への対応は、すでにベテランの域に達しているようにも見えます。

貸館業務から子供向けの事業、高齢者向けの事業まで担当し、マルチな活躍を見せる彼女は、すでに公民館の顔として頼りになる存在です。

公民館の仕事は多種多様で、大変な面もあると思いますが「呼ばれば、どこにでも行きます。頼まれれば、何でもします。」と自己紹介していた菜奈さんには打って付けの職場だと思います。菜奈さんのさらなる活躍を期待しています！

(南魚沼市中央公民館 南雲 嘉章 記)

村上市村上地区公民館 主事 山田 浩介さん



我が村上地区公民館は不思議と「山田」姓が多い。そしてまたこの春もう一人「山田」さんが配属されました。彼の名前は「山田浩介」さん。配属当初の電話や窓口では、「どの山田でしょうか？」

といろいろ混乱もありましたが、今では「山田」と言えば「浩介さん」と言うくらい存在感が大きくなり、まさにスーパールーキーの登場となりました。地域の公民館としての在り方を十分に理解し、利用団体との調整、事業の企画、運営など日々忙しい業務を淡々とこなしているそんな彼を紹介します。

まずは、どんなに多忙でもいつも穏やかで笑顔をたやさない！その上、公民館を利用している子どもたちから高齢者の方までのハートをつかみ、すぐに人気者になってしまった!!

この若さで、こんなにパーフェクトな彼は、本当に若者なのか？たまに疑問に思うこともありますが、これからも元気よく村上地区公民館を引っ張っていただきたいと願っています。ちなみに私も山田と申します…(笑)。

(村上市村上地区公民館 山田 就子 記)

素顔拝見

ネットワーク

3日 10:45 ~ お話
 一見の価値あり
 *築120年の古民家

2会場
 柏崎市「旧山崎亭」
 柏崎市谷根729番地

1開催期日 11月25日(出)

17:00 ~ 懇親会
 (日体大教授)

上田 幸夫さん
 まとめ
 伊藤 義則さん
 田原 理さん
 (新潟市亀田地区公民館長)



昨年の交流集会 講師:小千谷市・松井教育長

「社会教育関係者元気UP交流集会」
 新潟県生涯学習協会
 10月号でお知らせした生涯学習協会主催(共催:柏崎市教育委員会)の元気アップ交流集会の詳細・続報です。

長澤 成次さん
 (日本社会教育学会会長)
 *会場:古民家所有者

13:00 ~ 話題提供
 (1) 布施 利之さん (君津市職員)
 (2) 田原 理さん

問い合わせ
 新潟県生涯学習協会
 担当:高橋事務局長
 TEL・FAX 025-266-1120
 E-mail:syakyos6@teel.ocn.ne.jp

お元気ですか

「公民館活動に参加して」

成田 靖子 (三条市)



子育てと親の介護をしながら働いていた私は、定年退職後に何か趣味を楽しみたいと思っていました。

退職後、母の残した和服を着たいと思い、嵐南公民館の着つけ教室に参加しました。その後、講師の個人教室に通い「ぎつけ技能師」の資格を得ました。春の三条祭の若衆会に着つけボランティアや夏祭

6年前、自宅に近い東公民館で筆ペン講座の募集がありました。月2回で課題は、年賀状の書き方、折々の俳句の筆写等です。年1回の文化祭に作品を展示します。80代の方も数名おられ、学ぶ事が多々あります。

最近の私は、公民館活動に参加する時間が多く今、自分史講座で半生を省りみています。

教室で出会った方々、そして企画運営の公民館担当者に感謝しています。

着つけ教室に通うかたわら、中央公民館の茶道教室に入りました。そこで基礎を教えて頂き終了後には時々茶会に出かけるようになりました。茶道の奥深さにいつも驚嘆しています。

着つけ教室に通うかたわら、中央公民館の茶道教室に入りました。そこで基礎を教えて頂き終了後には時々茶会に出かけるようになりました。茶道の奥深さにいつも驚嘆しています。

※「お元気ですか」のコーナーは現役をリタイアした方がその後「元気に活動している様子を紹介するコーナー」です。

純国産クリーンエネルギー

ダムは、CO₂を排出しないクリーンな電力を供給しています。また、都市住民の生活や農業・産業活動などに安定した水の供給を行い、集中豪雨等の災害時には住民の生命・財産を守る機能を果たすなど、国民の安心・安全にも役立っています。

新潟県ダム・発電関係市町村協議会
 会長 (阿賀町長) 神田 敏郎
 新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館内
 TEL 025(285)0041 FAX 025(285)1609

事務局長のつぶやき

世の中、ペットブームです。テレビでは犬や猫をテーマにした番組が毎日放送されています。同時に犬の散歩時の糞処理も話題になります。先日の日報の声の欄には、玄関先に大きな糞があつてその家のお父さんがフンガイしていたと

のこと。飼い主のマナーというより人間性を疑いたくなります。我が家にも1匹。朝夕の散歩は私の役目です。いつもすれ違ふ人は糞処理グッズ(ビニール袋とか)を持たない人。近所のお父さんです。ですから注意をしつらいのですが、フンガイをいつか伝えようと思ひます。(田原)